

MOON RESOUND PICKUPS

楽器の豊かな響きを致す事なくフルにピックアップアップする為には、マグネットにアルニコ材を使用する事がひとつの基本。ムーンピックアップアップも全てアルニコマグネットを使用しています。しかし、アルニコマグネットは、ウォームで豊かなサウンドを生み出すには最高のマグネットですが、コイル材に(従来のピックアップに使用されている)銅線、エマルジョンでワイヤリングしたものは、その設計・素材を生かす切手事が出来ません。

そこでムーンでは、コイル材に従来のものは異質の素材成分を備えたコイルを使用しました。パワーと音質、そしてバランス、それらのトータルサウンドクオリティを追求し、生まれたピックアップがこのムーン・リゾナントシリーズです。たんなるビンテージコピーからは得られない音色を聞いて下さい。

SE"REAL" セット ¥16,000

ルックスこそ従来のままですがコイルマルチアルマグネット等に改良を加え"New REAL"ピックアップが生み出されました。プライトでありながらも中域の充実したファットでパワフルなサウンドは、単なるコピーにとどまらずムーンコーポレーションの理念を現実化したものです。ベースプレートはサイズ等は全て規格どおりですのでビンテージタイプのピックアップに不満をお持ちの方や「クォーターバンドタイプはどうか」とおっしゃる方ぜひご試聴



ていただきたいピックアップアップです。ムーン ST-REALもすでに標準装備され、ムーン独自の3マウント、フロント・リアミックスなどのワイヤリングと共に、最上級のストラトサウンドをクリエイトしています。まさに80Sストラトサウンド。

"TRUTH" ¥12,000

"トルース"は、ルックスこそ従来のオープンハンプタイプスタイルですが、そのハンパキングピックアップと異なりその基本はシングルコイルピックアップのサウンドにあります。各弦のバランスの良さ、音の伸びの良さ、音の立ち等々の基本的な部分の完成度がとても重要です。そして何よりも木部の鳴りをナチュラルに



引き出す事が大切です。"トルース"は、従来のハイパーハンプタイプの欠点であるハウリングと高域の音の伸びを克服する事にポイントを置いて開発されました。ハンパキングのサウンドとノイズが少ないというメリットに、いかにシングルコイルピックアップのもつ音の分離の良さを備えさせるかが、大きな課題でした。ムーンはそのために、独自の銅線コイルを開発・使用しました。従来の銅線やエナメルコイルではどうしてもパワーとノイズ

そして切れ味の良さを確保する事で、求めていたサウンドが生まれました。一般に日本ではUSAワイヤーが良いとされていますが、現在コイルの純度は国産のワイヤーの方がはるかに上質なものがあります。ただ、従来のほとんどメーカーが同じ内容のコイルを多く使ったリマグネットを大きくする等の事しか目を向けていなかったのです。コイルの素材がどれだけ音色に影響を与えるのか。この"トルース"の音色を試してみ下さい。マグネットもアルニコワイドピッチ、ポールピースもワイド化、大

きな弦振動に対しては音像はくずれず、フェンダー系のワイドピッチギターにマウントしても音質は落ちません。また、"トルース"の最大のポイントは、ハウリングに圧倒的に強いことです。これは、完璧なハウリングに対する設計から生まれました。フルパワー時もダイナミックなフィードバックサウンドをコントロール出来ます。マーシャルアンプをフルパワーの状態にしてアンプの前に立てても、ハウリングしません。"トルース"は、ハンパキングピックアップの結論です。

ソープバー"DX" ¥8,000

"DX"は、レイド・バック・タイプのピックアップ。ムーン新素材コイルワイヤリングに、アルニコWマグネット。"DX"のサウンドはシングルコイル・ピックアップより太く、ハンパキングよりクリア。インダクタンスは75Hで、シングルコイル系としては非常に高い数値を示す。それだけハンパキングに近い出力を持っているわけです。まさにシングルコイルとハンパキングの中間的な音質を備え持つピックアップで、メロな響きと、鋭い切れ味のいい高音はソープバー独自の音色。1952年から製作されたレス・ポールをはじめ、ソープバーピックアップのそのブルーティーンサウンドを求めるとは多岐にわたる理由もわかりやすい。レス・デューディック、デューキー・ベッツたちの"マジカルな音色"を現代にアレンジして完成した"DX"。まず、レゲエ・エクスプローダーのサウンドをお試し下さい。

J-BASS"Jaggy" ¥8,000 セット ¥14,000

Jaggyは、オープンタイプのJ-BASSピックアップ。ポテンシオメータには、ピラミッドラバーシートが装着され、内側のポテンシオメータの劣化、変質や老化を防止し、カバードタイプと変わらない耐久性を持ちます。ピックアップ本体は、6.3クォーターバンド・ラダー・ルースを、新素材コイルに合わせたオリジナル、クォーターバンドのパワーに、何よりもナチュラルな音色とバランスを備えています。あのオールドビンテージサウンドをよりプライトでタイトに生まれ変わらせた。ラッシー



ンドにあります。あとは、このピックアップのサウンドをフルに引き出してくれるペーンストに出会うのを待つことにしましょう。

P-BASS"クォーターバンド" ¥8,000

カバードタイプで6.3クォーターバンドのラジアルニコマグネットをセット。オリジナル新素材コイルにより、バランスの良いパワーが得られます。ビンテージタイプのまろやかな"ファット"な音に加えて、クォーターバンドならではのレンジの広い低音帯を生みます。音像のほっそりしたウォームなサウンドは、P-BASSの持つ音域を一步前進させました。非常に太い低音帯、そしてハイパワーでありながらもくっきりとしたサウンドは、ラインで



ダイレクトにプラグインするプロ・プレイヤー向けです。多くのプロ・プレイヤーたちが絶賛する理由がわかっていたら幸いです。本音のP-BASSサウンドをおさし"Mr.ベーンスト"へムーンからお届けします。

WOODY series



グラハムを始め、国内、海外のトップベーシストたちが、このJaggyピックアップのサウンドを認めているのは、その広いレンジのBASSサウンド

自然な"木の鳴り"を大切にした楽器作りを目ざして来たムーンでは、特殊材を使用したカスタム・ギター及びベースをプロデューサーが作り出しています。クロコダイロクチュナーはそんなポリシールから生み出された

ST-195 EMG WAL ウォールナット材にEMG-SAアッセンブリーをマウント。クリアでバランスの良いEMGの音色にコシの強いウォールナットのサステーンが備わっています。ローインピーダンスならではの全くノイズのない幅広いサウンドは、まさにプロユースなギターです。

ST-218 Alembic WAL アレムピック社独自のフィルター・トーン・コントロールにより350Hz-120Hzまでワイドレンジなトーンを備えます。コイルは完全にモールドされ外部ノイズの影響を受けません。プライトで楽切りの良いハイトーンとバリエーション豊富なキャラクターを持つ独特のトーンは、新しいストラト・サウンドを引き出してくれます。

ST-195 Bartolini PAD EMG-SAとバリエーション3Xの2種のピックアップをマウントしました。

ST-200 EMG PAD

ST-TEAK 最高級なチーク材を使用。重量は重めですが粘り強い低音帯を備えます。バドック材と同様、年数回のロットで限定生産させていただきます。豊かな中低音は特筆すべきものがあります。

ST-200 Bartolini TEAK バリエーションの3Sスタッド・ピックアップをマウント。フルトーンとトップの幅広い音づくりが可能です。

Machine Head

ベグ(Machine Head)と音質

ベグと言いますと、音質的な事についてより機械的精度についての点に重点が置かれている様ですが、ここではベグが音質にどのような影響を与えているかについてお話しします。

ベグの中で、まず精度を追求したもののほとんどが、ベグ自体の質量が少しばかり大きくなっています。ベグがダイキャスト製で、(スプリングタイプの様な軽量の物に比べると)かなり重いタイプのもの、軽量タイプのベグとは、同じギターヘッドに取付けした場合、どのような違いが出るのでしょうか？

リングの狂いも少なく安心感があります。ですから質量を出さなければならぬ、なおかつ精度の優れたものが多いといえます。ムーンでは木の鳴りをフルに引き出し、一本一本の楽器に味のある音づくりを施していきたいと考えています。

クロコダイロクチュナー

クルーソングタイプの質量で、より精度の高いベグの開発。そこからは生まれたのが"クロコダイロクチュナー"です。クロコダイロクチュナーは従来のベグのシャフト部にストリングスロック機構を備えた画期的なベグです。長時間で弦交換が可能で、従来のベグに比べ弦を何重にも巻かなくてもいいのに、弦がねじれてセットされる事なく、チューニング及びジョーブル・プレイなどにおける音程の狂いも最小限にとどめられます。また、トレモロユニットを装備したギターにセットした場合も、アームダウン時の弦のゆるみもないのに、テンションゼロの状態でもアームダウン可能です。

取り付けもドライバー一本あれば簡単に交換が可能。ルックスもオリジナルスタイルとほとんど変わらない。ビンテージギター等にも馴染み感がありません。楽器本体の音色もバランスもよくなりました。シャフト部において弦をロックするいくつかの方法をテストした結果、レンチを使用しレンチをロックするクロコダイロクチュナーが最も信頼性が高いという結果が得られました。

最近騒音を持たれているチューニングロックタイプのトレモロユニットのほとんどが、ネックのナット部に穴をあけてロックするタイプのものです。これは、楽器本体の音色、バランスに大きな影響を与え、オリジナルサウンドを根本的に変化させてしまいます。ネックボディへの負担を最小限にとどめ、いかに楽器の音質もその本来の音色を引き出す事が出来なく

なっています。ムーンは、楽器本体の鳴りをフルに引き出した、自然な木の音色を大切にしたい楽器を作りたいと考えています。クロコダイロクチュナーはそんなポリシールから生み出された



ST-190 Bartolini WAL バリエーションの3Xフルレンジストラトをマウントしました。パッシブタイプの暖かい中域域に優れた音色、バランスの良さも特筆すべきものがあります。

ST-195 EMG WAL ウォールナット材にEMG-SAアッセンブリーをマウント。クリアでバランスの良いEMGの音色にコシの強いウォールナットのサステーンが備わっています。ローインピーダンスならではの全くノイズのない幅広いサウンドは、まさにプロユースなギターです。

ST-218 Alembic WAL アレムピック社独自のフィルター・トーン・コントロールにより350Hz-120Hzまでワイドレンジなトーンを備えます。コイルは完全にモールドされ外部ノイズの影響を受けません。プライトで楽切りの良いハイトーンとバリエーション豊富なキャラクターを持つ独特のトーンは、新しいストラト・サウンドを引き出してくれます。

ST-195 Bartolini PAD EMG-SAとバリエーション3Xの2種のピックアップをマウントしました。

ST-200 EMG PAD

ST-TEAK 最高級なチーク材を使用。重量は重めですが粘り強い低音帯を備えます。バドック材と同様、年数回のロットで限定生産させていただきます。豊かな中低音は特筆すべきものがあります。

ST-200 Bartolini TEAK バリエーションの3Sスタッド・ピックアップをマウント。フルトーンとトップの幅広い音づくりが可能です。